

1 研究目標

情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践

2 情報教育部会研修会

(1) 期日 令和元年8月8日(木)

(2) 会場 西条市立西条東中学校

(3) 内容

- ① タブレット端末の活用法の研修
- ② 「SKYMENU」の研修
- ③ デジタル採点の研修

3 研修会の概要

(1) タブレット端末の研修

スマートスクール事業実証校である西条市立西条東中学校でタブレット端末の活用法の研修を行った。西条市ICT支援員を講師として、タブレット端末を活用した授業実践の紹介や実際にタブレット端末の体験を行った。

具体的には、株式会社ベネッセコーポレーションが開発した「ミライシード」というソフトウェアを実際に体験した。生徒の意見を集約したり、全体で共有したりすることが大きなメリットであると感じた。



【タブレット端末の研修の様子】

(2) 「SKYMENU」の研修

株式会社SKYのインストラクターを講師としてお迎えし、「SKYMENU」の基本的・応用的な使用方法について研修を行った。特に新規採用の先生方にとってはSKYMENUの基本的な活用方法を学べる研修であったので、良い機会となった。

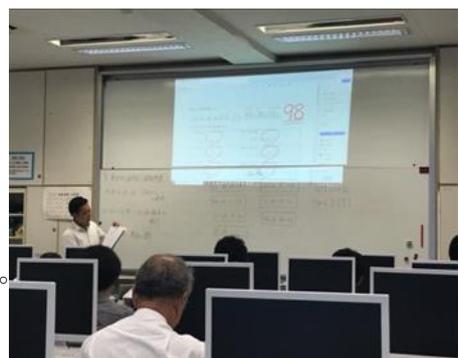
特に、「SKYMENU」を利用して全体に画面を共有したり、各コンピュータのデータを集約したりすることが便利であった。小学校ではプログラミング教育、中学校では技術・家庭科の授業において活用することで、生徒の理解を深められると感じた



【SKYMENUの研修の様子】

(3) デジタル採点の研修

株式会社教育ソフトウェアのインストラクターを講師として、デジタル採点の研修を行った。内容としては、答案の読み取り方や採点の仕方などの使用方法についてであった。最も大きなメリットとして採点後の観点別の処理や分析が挙げられた。西条市立西条東中学校ではすでに導入されており、得点度数分布や分野別結果も出力できるため、効果的である。この研修を機に、市内の小学校、中学校各1校が2学期からデジタル採点を導入し、試行中である。



【デジタル採点の研修の様子】